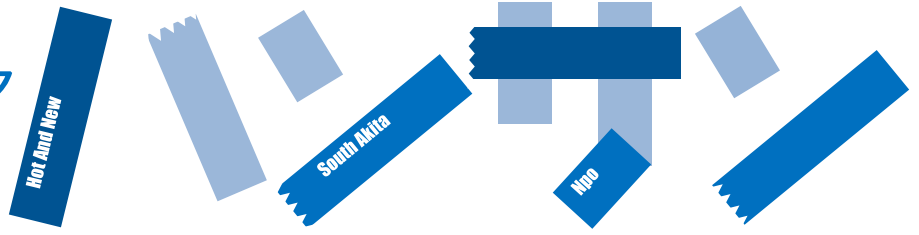


県南のNPOを情報でつなく、ささえる。

秋田県ボランティア NPO 活動ニュース

「県南版」



P2 ……活動ウォッチング

東成瀬昔っこの会

P3 ……NPOの基礎知識

NPO法人って何だろう

P4 ……あきたスギッチファンドより **New!**

採択団体が決定！県内で活動が始まります

7

July 2019

Vol.143

今月の表紙「湯沢びじんプロジェクト」

小野小町発祥の地である秋田県を「びじん県」として売り出していこうと、同プロジェクトでは平成 25 年から「びじん証明書／びなんし証明書」を発行しています。平成 30 年に第 20 回あきたスギッチファンドの助成を受け、事業のブラッシュアップと証明書のリニューアルを行いました。地域内の店舗や施設など 21 ヶ所から協力をもらい、証明書の発行や提示による割引特典を受けることができるようになりました。今後さらに協力先を増やし、「びじんの街ゆざわ」を発信していきたいと代表の川井寛さんは話します。

(小山留理子)



活動ウォッチング

THEME_ボランティア/NPO

先人がつくり、現代に語る、未来の心

DATA_団体情報

東成瀬昔っこの会（東成瀬村）

代表/佐々木 慶子さん

連絡先/TEL 0182-47-3415

（東成瀬村教育委員会）

文化を次世代に残したい

昔ながらの方言を使いながら昔話を語る団体があることを知っていますか。

平成11年に結成され今年で22年目になる東成瀬昔っこの会では、現在65歳から91歳までの8人で活動を行っています。その中でも「伝承の語り部」である3人は秋田県でも東成瀬村にしかいません。伝承の語り部とは、忘れ去られようとしている言葉や人の心を、これから生きる私たちに大切なものとして伝えている人たちのことです。かつてはそれぞれが個人で昔話を語っていたそうですが、もっと多くの人たちに知ってもらいたいという思いから同会が結成されました。

活動の場は幅広く、学校や福祉施設などから依頼を受けることもあれば、2014年に本県で開催された第29回国民文化祭でも依頼を受けて昔語りの披露も行いました。代表の佐々木慶子さんは「前のめりの姿勢になって聞いてもらえたり、良かったよと声をかけてもらえたりすることが嬉しい」と言います。



を掛けてもらえたりすることが嬉しい」と言います。

特に力を入れているのが、小学校での活動です。昔話はもちろん、干した餅を食べる歯固めや豆腐あぶり、雪中田植えなどの年中行事も取り入れているそうです。子どもの頃から昔から伝わる村の文化に触れさせ、積み重ねることによって、大人になってからも村に愛着を持てる人に、成長してほしいと考えています。

これから繋げるために

課題となっていることは、語り部の高齢化です。特に伝承の語り部は全員が80歳以上となり、語ることが難しくなっているそうです。「元気なうちに、子どもたちや若い世代に語りを聞きに来てほしい」と佐々木さんは言います。活動への参加者も募集中とのことです。

現代ではあまり行われなくなった習慣や行事、語られなくなった地域に根差した言葉。そこに込められた意味を知ること、先人が大切にしてきた理由が分かる奥深いものです。東成瀬昔っこの会は、10月27日に同村の地域交流センターゆるるんで行われるイベントでも昔語りを披露します。

みなさんも聞きに行ってみませんか。（ライター：横手高校定時制2年

（左から）佐藤茜里、田高良樹



高校生が考える SDGs×東成瀬昔っこの会

当団体の活動はSDGsの次の目標にあてはまると考えました。

■目標4「質の高い教育をみんなに」

ターゲット3「2030年までに、全ての人が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。」

ターゲット7「2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。」

若い世代に昔からの言い伝えや方言などの文化を伝えることは、学校ではなかなか学ぶことができない教育にあたると思います。また、50代、60代以降の世代にとっては、昔っこを受け継ぎ伝える活動そのものが生涯の学習に繋がると考えました。



取材を通して感じたこと

佐々木さんのお話の中で印象に残っていることは、「昔のままの方言を子どもたちに伝えたい」という言葉です。今の方言は、時代とともに、本来の言い回しではない綺麗な言葉に置き換えられてしまっているそうです。取材の終わりに佐々木さんが語ってくださった昔っこには、東成瀬の土着の方言がたくさん使われていて、昔っこを語ることは文化の継承になるのだと気づきました。この貴重な文化が途切れないように、私たちが受け継ぎ、また次の世代へ伝えていくことが重要だと思いました。

（ライター：横手高校定時制3年 語越知美）



（編集：奥ちひろ）

NPOの基礎知識

今月のテーマ

NPO法人って何だろう

「NPO」という言葉はよく聞くけれど、
どういう意味なのか、どんな活動をしているのか。
何となく分かるけれど、よくわからない。

『ハンサン』の編集担当1年目の小山が
調べて学んで理解したことを
私と同じようにNPOをよく知らない方にも
分かるようにお伝えしていきます。

6月号では、NPOとは何かについて書きました。
今回はNPO法人についてご紹介します。

Q. 「NPO」と「NPO法人」は 同じものですか？

「NPO」というと「NPO法人」のことだと思われることが多いようです。しかし、NPOとは様々な地域課題に対し、市民の参画を得ながら取り組んでいく民間の非営利団体を指す言葉で、法人格の有無とは関係がありません。法人格のない市民活動団体も「NPO」の1つです。

その中でも、NPO法に則って法人格を取得した団体のことを「NPO法人」といいます。

Q. NPO法とは何ですか？

NPO法は通称名で、正式には「特定非営利活動促進法」といいます。1998年に施行されました。

第1条には「この法律は、特定非営利活動を行う団体に法人格を付与すること等により、ボランティア活動をはじめとする市民が行う自由な社会貢献活動としての特定非営利活動の健全な発展を促進し、もって公益の増進に寄与することを目的とする」と定められています。つまり、特定非営利活動を行う団体が法人格を取れるようにした仕組みです。

きっかけは、1995年の阪神・淡路大震災でした。ボランティアの活躍が救援、救護、復興に大きな役割を果たしました。しかし、活動の基盤としての法人格がなかったため、活動の幅を広げることが難しい側面も出てきました。NPO法は、市民活動を後押しするために設置されました。社団法人や財団法人よりも簡易に法人格を取得でき、NPO法人は全国に5万以上、県内には359（うち解散が93）団体あります。

Q. NPO法人になるメリットは何ですか？

団体として財産を所有したり、法人名義で口座を開設する等の様々な契約行為を行ったりすることができるようになります。また、情報公開等NPO法に基づいた活動により社会的な信用が得られ、寄付金を受けやすくなったり、公的な事業に参加するチャンスも増えたりします。

Q. NPO法人になるための条件は？

次の設立要件を満たした上で、所轄庁（秋田県）に申請し、認められたのち法人登記をして活動することができます。

- NPO法に定められた20分野に関する活動であること
- 営利を目的としないこと（収益を得て組織の維持や事業拡大に使うことを禁止するものではない）
- 10名以上の社員（総会で議決権を持つ会員、正会員）で構成され、入退会が自由であること
- 役員は理事3名以上、監事1名以上が必要
- 役員報酬を受けられる役員数は役員総数の1/3以下であること
- それぞれの役員について、その配偶者若しくは三親等以内の親族が2人以上いないこと
- 各役員並びにその配偶者及び三親等以内の親族の数が、役員総数の3分の1を超えていないこと
- 宗教活動や政治上の主義の主張が主たる目的でないこと
- 特定の公職の候補者等や政党を推薦・支持すること、または反対することを目的としないこと
- 暴力団もしくはその構成員等の統制下にある団体でないこと

（小山留理子）

News あきたスギッチファンドより

市民活動団体を資金面から応援する、認定 NPO 法人あきたスギッチファンドからのお知らせをお伝えします。

ファンドに関わるみんなの想いをのせて 採択団体が決定！県内で活動が始まります

地域にはたくさんの課題があります。そんな地域の課題を解決しようと様々な活動をしている団体に対し、あきたスギッチファンドが助成金を交付しています。この度、採択団体が決定しましたのでお知らせします。

これらの活動に対し、資金面から支援することができるのは皆さんからの寄付のおかげです。一口 1,000 円から、好きなファンドを選んで寄付をしてみませんか。

■ 2019 年度少子化対策応援ファンド、採択団体が決定

公開審査会が 6 月 19 日に行われ、県南からは「子育て支援 20 万円コース」に 3 事業が採択となりました。

団体名/事業名/事業内容

☆ママとこどもの秘密基地☆実行委員会/☆ママとこどもの秘密基地☆/親子が地域とつながることで孤立を解消し、視野を広げて前向きに子育てに向かえるよう、交流イベントを開催する。市民の活動の場としても捉えていく(7月7日、角館交流センター)。

フラッフィチェック
FluffyCheck/子育てNEW WAVE~広がる・つながる・笑顔の育児~/地元で子育てを楽しむ機会をつくるため、「おひるねアート」「歯固めジュエリー」^{ペタペタアート}の体験会を開催する。また、この場が女性の起業のきっかけになれるよう応援する。

(特活)まることびおら/みんな遊びにおいで!まるこ 10 周年まつり/子育てに悩みを抱える方が地域でより良い子育てができるよう、10 周年となる地域子育て支援拠点施設・高齢者生活相談所「まるこの広場」を周知する 10 周年まつりを開催する(9月8日、大仙市「まるこの広場」)。

本ファンド 団体等が自ら企画する事業を対象にしたファンド。

冠ファンド 資金提供者の想いや名称などを冠にした個別ファンド。資金提供者にも選考に参加していただけます。

分野別指定ファンド 特定分野を指定したファンド。

※スギッチファンドでは、秋田県の補助金が原資となっている**少子化対策応援ファンド**も運営しています。子どもを産み育てやすい環境づくりや、結婚支援、子育て支援などに取り組む団体及び企業の事業に助成するものです。

■ 第 21 回あきたスギッチファンド、採択団体が決定

公開審査会が 7 月 6 日に行われ、県南からは 2 事業が採択となりました。

団体名/事業名/事業内容

あきた^{かんぜん}乾癬友の会/患者会設立による「治療に向き合っていくための場づくり」と「乾癬の正しい認識を普及」する活動/健康に関する不安は打ち明けづらく、孤独感がある。難治な病気の治療に安心して向き合えるよう患者会をつくり、交流の場を継続的に提供する。病気への正しい理解が広がるよう市民公開講座を開催する(9月28日、秋田市文化会館)。

混声合唱団横手フィオレンテ/音楽パワーで地域を元気に!歌でつながる地域連携型コンサート/音楽に親しむことによる住民の心の健康増進、文化活動人口の増加を目指すとともに、単独では発表の機会を得られない合唱団が経験を積む機会を創出するために「秋のコンサート」を開催する(10月6日、横手市「かまくら館」)。

秋田県ボランティア・NPO 活動ニュース県南版

ハンサン

2019 年 7 月 10 日発行
7 月号 VOL.143

発行：秋田県あきた未来創造部地域づくり推進課

〒010-8570 秋田市山王四丁目 1-1 TEL.018-860-1245

編集：特定非営利活動法人秋田県南 NPO センター (南部市民活動サポートセンター)

〒013-0046 横手市神明町 1-9

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

南部市民活動サポートセンター

【相談受付】月・火・水・金 9:00~18:00
土・日 9:00~17:00

【休館日】木曜日・年末年始(12/29~1/3)

〒013-0046 横手市神明 1-9

TEL.0182-33-7002 FAX.0182-33-7038

E-mail:ssc7002@luck.ocn.ne.jp

http://www.akita-kenmin.jp/



編集スタッフの
つづやき VOL.03

コーディネーター
奥 ちひろ

娘の出産からまもなく 4 年になります。休暇をいただいた後、非常勤スタッフとしてハンサンの一部の記事作成や事業のコーディネートに携わる傍ら、企業にも所属し、CSR 活動の推進にチャレンジしてきました。企業にとっての CSR の意義や位置づけ、社内浸透の難しさを肌身で感じつつ、企業が社会貢献以外の主業務で NPO とつながれるポイントやメリットも発見できました。この学びを地域に対して還元することが今の目標です。

春からセンターでの勤務時間が増え、団体のみなさんの変わらない姿を見て、励まされている日々です。